

●暹羅文部次官と幼稚園

先頃我邦の教育事業

を視察したる、暹羅文部次官には、我國の教育が進歩し居るに驚嘆せし由なるが、就中幼稚園教育の整備したるに感じ、是非自國にても、此の如き制度を實行するの必要ありとて、既に保姆の雇聘方を文部省に依頼したりと。

●江原素六氏の食事の修身談

に曰く歐米の信

教者も教祖の行狀に倣ひ食事ごとに必らず神に感謝の祈禱を捧げざるはなし其旨趣孔子祈る所と全く相異なる所なし。北米合衆國の大統領「ワシントン」も亦食事に對して自ら定めたる行規あり、即ち其言語作法百十則のうち「曰く、食物を道樂とするの風ある勿れ、食るが如くして食する勿れ、食卓の上にて脊をかがむる勿れ、己の食物に向つて不満を洩す勿れ、如何なる事わりとも食卓の上

にて怒を發すること勿れ、若し來客わらは汝の容貌を温雅にせよ、温言は一皿の肉をも大饗應となすべしと。

それ食事は一日三回づゝ來るものなり、其都度怒を忘れ満足を感じ、愛情を崇め、親睦を増し、和樂以て糧食するあらば、不知不識の間に吾人の品性を修養するに盡す所少なからざるべし、箴言に睦ふして乾ける一撮のパンあるは争ありて肥え

たる肉の豊かなるに優れり

又其禮式としては、孔子は食するに語らず、寢るに言はずと、而して近世歐米謳歌者流はいたくこの教規を誹謗せり、曰く食事は貴重なる生命を繋ぎ吾人たる義務を遂行する健康に關するものなり、故に大に喜び且つ樂んで食ふべきなり、故に犬馬の如くたい食するばかりにあるべからず、宜